

美幌町における景気動向調査報告書 ＜第Ⅱ四半期＞

美幌商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調 査 時 点 令和7年 7 月
- (2)調査対象期間 令和7年4～6月期実績及び令和7年7～9月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象及び調査方法

- (1)調 査 対 象
会員事業所の中から小売業35社、卸売業10社、建設業20社、製造業20社、サービス業35社(飲食15社・飲食以外20社)の5業種120社を対象とした。
- (2)調 査 方 法
調査対象に対し調査票を送付し、FAX または訪問による聴取により回答を頂いた。

3. 業種別回答状況(事業所数)

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
小売業	35事業所	29 事業所	82.9%
卸売業	10事業所	6事業所	60.0%
建設業	20事業所	17事業所	85.0%
製造業	20事業所	17事業所	85.0%
飲食業	15事業所	10事業所	66.0%
サービス業	20事業所	18事業所	90.0%
合計	120事業所	97事業所	80.8%

- 本調査結果中の「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。

Ⅱ. 概況 ≪全体の動き≫

令和7年度第Ⅱ四半期(4月～6月)の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が 20.6%、「悪化した」と答えた企業割合が 34.0%、「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は△13.4 となっており、前期(△8.3)より 5.1 ポイントの下降となった。

来期(7月～9月)業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が 20.6%、「悪化する」と答えた企業割合が 27.8%であり、D・I値△7.2 となっており、今期より 6.2 ポイント好転していく見込みであると予測されております。

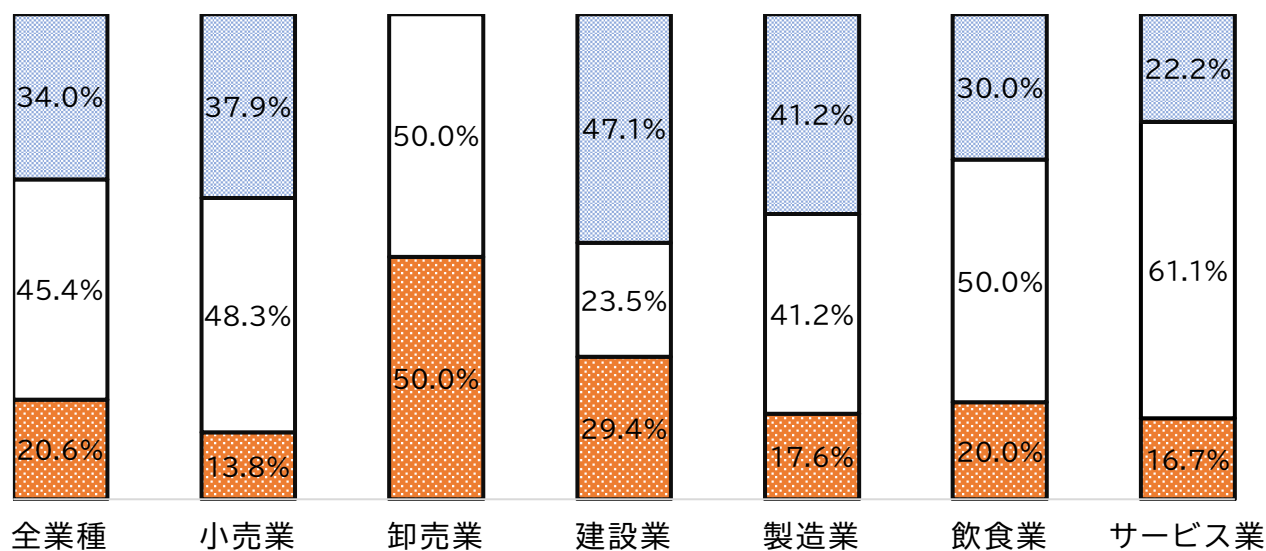
経営上の課題としては各業種において、依然として資材・商品等の価格高騰による「諸経費増加」が大きな課題となっており、次いで各業種様々な職種の「人材不足」、「人件費増加」が経営課題として数多く回答がありました。

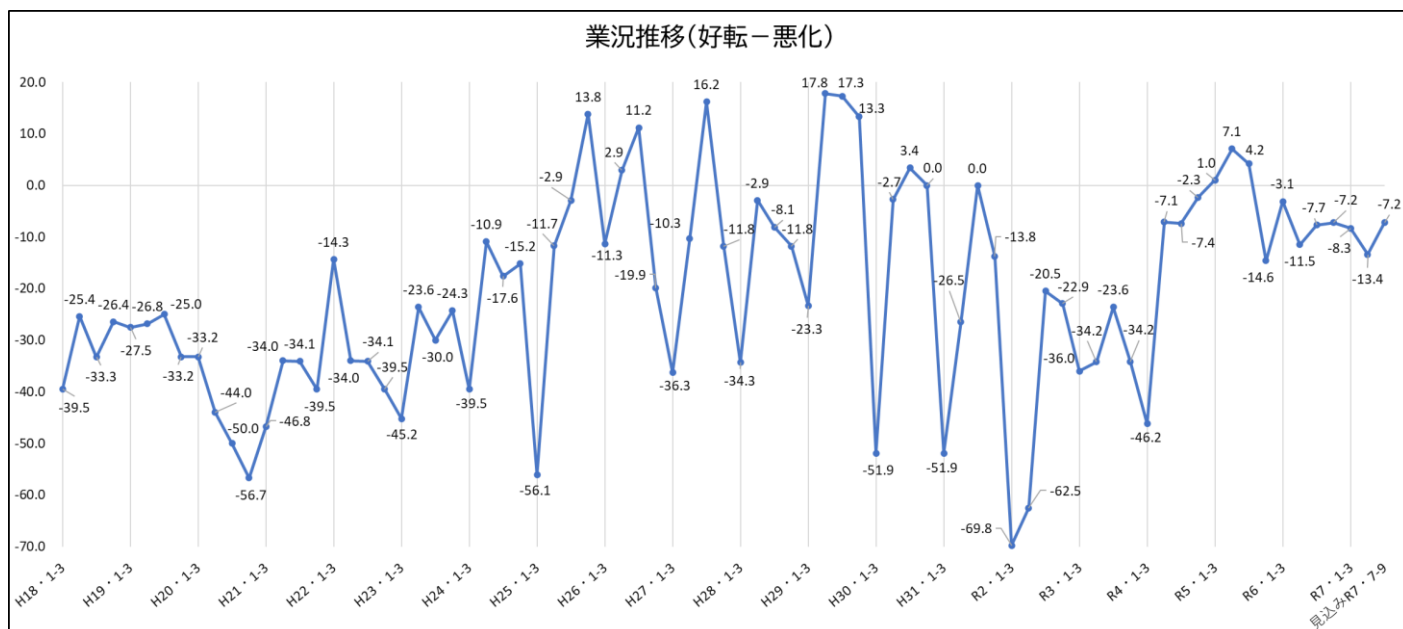
業種別DI

業況(%)	今期(令和7年 4 月～6 月)の実績 (前年同期比)				令和7年 7 月～9 月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	20.6	45.4	34.0	-13.4	20.6	51.6	27.8	-7.2
小売業	13.8	48.3	37.9	-24.1	14.3	50.0	35.7	-21.4
卸売業	50.0	50.0	0.0	+50.0	50.0	50.0	00.0	+50.0
建設業	29.4	23.5	47.1	-17.7	58.8	11.8	29.4	+29.4
製造業	17.6	41.2	41.2	-23.6	11.8	64.7	23.5	-11.7
飲食業	20.0	50.0	30.0	-10.0	10.0	50.0	40.0	-30.0
サービス業	16.7	61.1	22.2	- 5.5	0.0	77.8	22.2	-22.2

今期業況

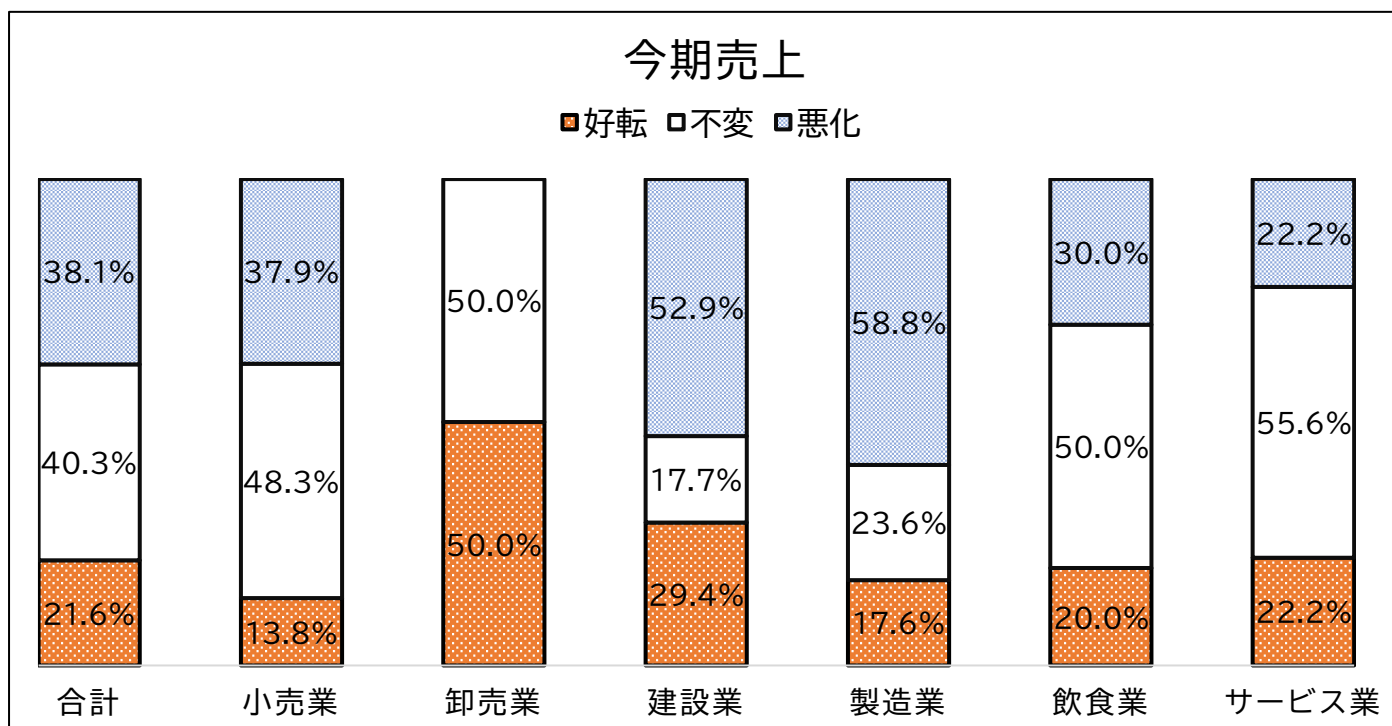
■増加 □不変 ■減少





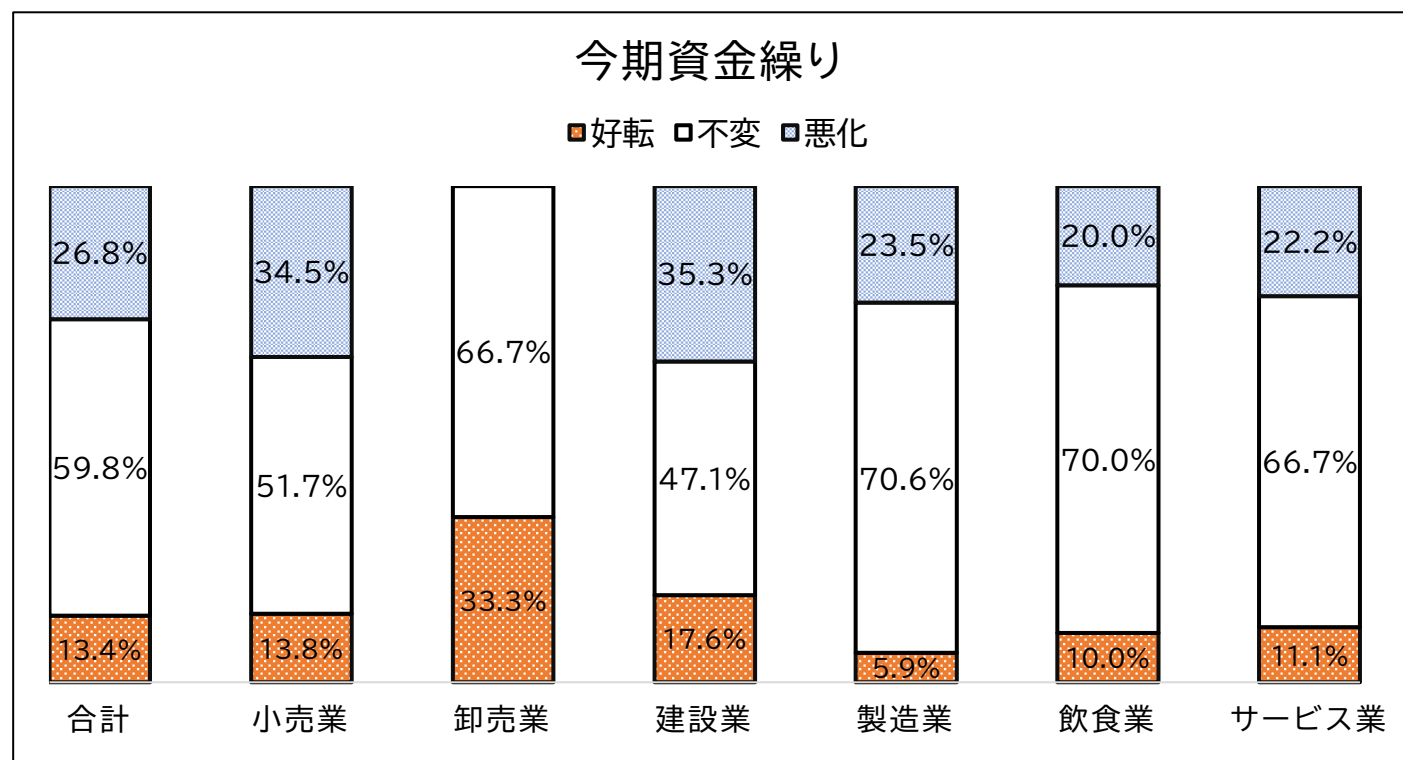
売上高(%)	今期(令和7年4月～6月)の実績 (前年同期比)				令和7年7月～9月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	21.6	40.3	38.1	-16.5	17.5	52.6	29.9	-12.4
小売業	13.8	48.3	37.9	-24.1	13.8	51.7	34.5	-20.7
卸売業	50.0	50.0	0.0	+50.0	50.0	50.0	0.0	+50.0
建設業	29.4	17.7	52.9	-23.5	35.3	35.3	29.4	+ 5.9
製造業	17.6	23.6	58.8	-41.2	12.5	56.3	31.2	-18.7
飲食業	20.0	50.0	30.0	-10.0	10.0	50.0	40.0	-30.0
サービス業	22.2	55.6	22.2	± 0.0	5.6	72.2	22.2	-16.6

※建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を示す。



資金繰(%)	今期(令和7年4月～6月)の実績 (前年同期比)				令和7年7月～9月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	13.4	59.8	26.8	-13.4	11.3	70.1	18.6	-7.3
小売業	13.8	51.7	34.5	-20.7	10.3	69.0	20.7	-10.4
卸売業	33.3	66.7	0.0	+33.3	16.7	83.3	0.0	+16.7
建設業	17.6	47.1	35.3	-17.7	29.4	64.7	5.9	+23.5
製造業	5.9	70.6	23.5	-17.6	0.0	81.3	18.7	-18.7
飲食業	10.0	70.0	20.0	-10.0	11.1	66.7	22.2	-11.1
サービス業	11.1	66.7	22.2	-11.1	5.6	72.2	22.2	-16.6

	今期(令和7年4月～6月)の実績 在庫水準(%) (前年同期比)				今期(令和7年4月～6月)の実績 採算(%) (前年同期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	13.5	73.0	13.5	± 0.0	17.5	45.4	37.1	-19.6
小売業	10.3	79.4	10.3	± 0.0	17.2	34.5	48.3	-31.0
卸売業	33.3	66.7	0.0	+33.3	33.3	50.0	16.7	+16.6
建設業	—	—	—	—	23.5	35.3	41.2	-17.7
製造業	12.5	62.5	25.0	-12.5	11.8	47.0	41.2	-29.4
飲食業	—	—	—	—	10.0	70.0	20.0	-10.0
サービス業	—	—	—	—	16.7	55.5	27.8	-11.1



<業種別の動き>

1)小売業 売上高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が 13.8%、「悪化した」と答えた企業割合が 37.9%、D・I値 Δ 24.1 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 13.8%、「悪化する」と答えた企業割合が 34.5%、D・I値 Δ 20.7 となっており、前期(Δ 17.3)より更に減少しており、来期も厳しい状況が続くと予測されます。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は 13.8%、「悪化した」と答えた企業割合が 34.5%、D・I値 Δ 20.7 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 10.3%、「悪化する」と答えた企業割合が 20.7%、D・I値 Δ 10.4 となっており、資金繰りについても売上高の増加が見込めない中であって厳しくなると予測されます。

2)卸売業 売上高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が 50.0%、「悪化した」と答えた企業割合が 0.0%、D・I値+50.0となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 50.0%、「悪化する」と答えた企業割合が 0.0%、D・I値+50.0 となっており、前期(Δ 20.0)から売上高の増加が見込めると予測され、来期においても回復傾向が続くと予測されます。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は 33.3%、「悪化した」と答えた企業割合が 0.0%、D・I値+33.3 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 16.7%、「悪化する」と答えた企業割合が 0.0%、D・I値+16.7 となっており、資金繰りについて来期も安定していくと予測されます。

3)建設業 完成工事高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が 29.4%、「悪化した」と答えた企業割合が 52.9%、D・I値 Δ 23.5 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 35.3%、「悪化する」と答えた企業割合が 29.4%、D・I値+5.9 となっており、前期(Δ 5.9)から大きく減少していますが、来期は回復傾向になると予測されます。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は 17.6%、「悪化した」と答えた企業割合が 35.3%、D・I値 Δ 17.7 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 29.4%、「悪化する」と答えた企業割合が 5.9%、D・I値+23.5 となっており、資金繰りについては前期(+11.7)より工事量の減少と同様に下降傾向ではありますが、来期は回復傾向になると予測されます。

4)製造業 生産高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が 17.6%、「悪化した」と答えた企業割合が 58.8%、D・I値 Δ 41.2 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が12.5%、「悪化する」と答えた企業割合が 31.2%、D・I値 Δ 18.7 となっており、前期(Δ 18.7)より、更に生産高が減少しており、来期も厳しい状況が続くと予測されます。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は 5.9%、「悪化した」と答えた企業割合が 23.5%、D・I値 Δ 17.6 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 0.0%、「悪化する」と答えた企業割合が 18.7%、D・I値 Δ 18.7 となっており、前期(Δ 37.5)から引続き生産高同様に厳しい状況が続くと予測されます。

5)飲食業 売上高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が 20.0%、「悪化した」と答えた企業割合が 30.0%、D・I値 Δ 10.0 となっており、前期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 10.0%、「悪化する」と答えた企業割合が 40.0%、D・I値 Δ 30.0 となっており、前期(+8.3)より減少しており、来期においては更に下降傾向が続いていくと予測されます。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は 10.0%、「悪化した」と答えた企業割合が 20.0%、D・I値 Δ 10.0 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が11.1%、「悪化する」と答えた企業割合が 22.2%、D・I値 Δ 11.1 となっており、資金繰りについて前期(Δ 16.6)から引続き厳しい状況が続いていくと予測されます。

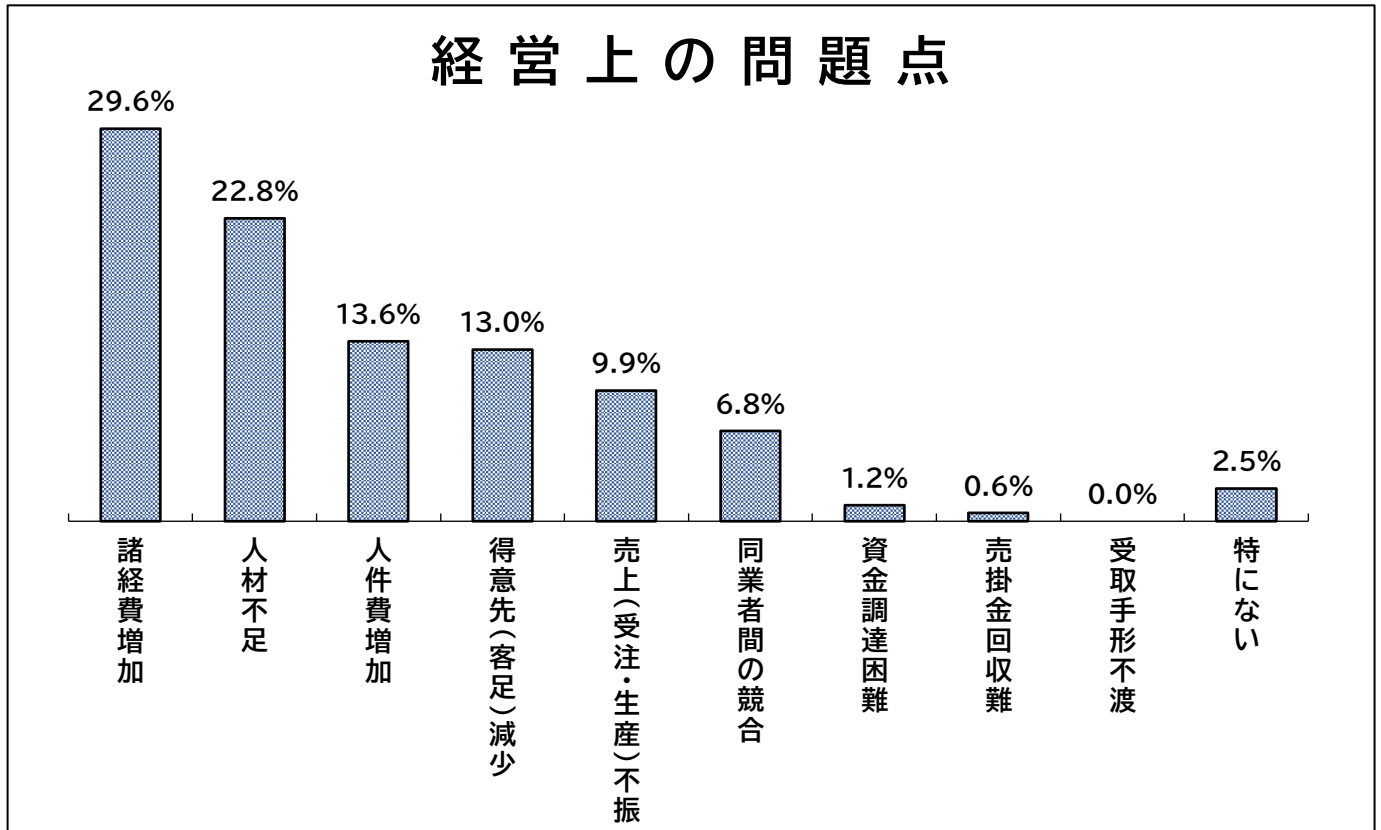
6)サービス業 売上高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が 22.2%、「悪化した」と答えた企業割合が 22.2%、D・I値 $\pm$ 0.0 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 5.6%、「悪化する」と答えた企業割合が 22.2%、D・I値 Δ 16.6 となっており、前期(+17.7)より売上高は減少しており、来期は更に下降傾向にあり厳しくなると予測されます。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は 11.1%、「悪化した」と答えた企業割合が 22.2%、D・I値 Δ 11.1 となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が 5.6%、「悪化する」と答えた企業割合が 22.2%、D・I値 Δ 16.6 となっており、資金繰りについても売上高の増加が見込めない中であって厳しくなると予測されます。

<経営上の問題点>



<業界の問題点・要望>

- 【小売業】・当方が希望する取引先が減っている。
 - ・原材料の値上り。物価高騰の影響で買い控え、売上も落ち込んでいる。
 - ・労働時間の短縮で生産性の低下となっている。
 - ・設備の老朽化。
 - ・人手不足。
- 【卸売業】・人件費の高騰が売上の増加に追いつかない現状。
- 【建設業】・工事量の減少。
- 【製造業】・仕事量の減少。
- 【サービス業】・取次店の進出。
- 【飲食業】・仕入価格の大幅な上昇。